# 2024 SUPER GT300 Round.2　FUJI　～ Race Report ～

VELOREX
Fueled by Ambition

Team Le Mans

# 2024 SUPER GT300 Round.2　FUJI　～ Race Report ～

**大会概要**
**2024年 SUPER GTシリーズ 第2戦**

**大会名称**
**2024 AUTOBACS SUPER GT Round2 FUJI GT 3Hours RACE**

**開催日時**
**5月3日　金曜（予選）　5月4日　土曜（決勝）**

**開催サーキット**
**富士スピードウェイ（1周：4.563km）**
**所在地：静岡県駿東郡小山町中日向694**
**同時開催レース**
**FIA－F4選手権シリーズ第１戦・第２戦**
**Porsche Carrera Cup Japan 2024 第２戦・第３戦**

**主催**
**富士スピードウェイ株式会社／FISCOクラブ（FISCO-C）／株式会社GTアソシエイション**

**公認**
**国際自動車連盟（FIA）**
**一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）**

**認定**
**株式会社GTアソシエイション**

**後援**
**経済産業省／国土交通省／自由民主党モータースポーツ振興議員連盟／静岡県小山町／御殿場市／裾野市／公益社団法人静岡県観光協会／小山町観光協会／一般社団法人御殿場市観光協会／一般社団法人裾野市観光協会／静岡朝日テレビ／小山町モータースポーツ協力会**

## ◆ 参戦体制

### ■ ドライバー

**片山　義章**
**YOSHIAKI　KATAYAMA**

| | |
|---|---|
| 生年月日 | 1993年11月13日 |
| 出身地 | 愛知県 |
| 身長 | 168cm |
| 体重 | 69.3kg |
| 血液型 | RH+O |

**ロベルト　メリ　ムンタン**
**ROBERTO　MERHI　MUNTAN**

| | |
|---|---|
| 生年月日 | 1991年3月22日 |
| 出身地 | スペイン |
| 身長 | 178cm |
| 体重 | 70kg |
| 血液型 | RH+O |

### ■ 代　表　　古場　博之

### ■ 監　督　　小倉　啓悟

### ■スタッフ

| | |
|---|---|
| チーフエンジニア | Mattia Oselladore |
| チーフメカニック | 片岡　恵人 |

### ■スポンサー

アスカ株式会社
ＣＩＳ株式会社
ザーレン・コーポレーション株式会社
ＴＯＮＥ株式会社
ＤＯＢＯＴジャパン株式会社
ニチアス株式会社
エバー株式会社
コスモ開発株式会社
岡田金属株式会社
株式会社ジョイフル設備
エクセルフィルム株式会社
ＭＩＤＴＯＷＮ ＢＢＱ
カトー機械株式会社
青山エレベーター株式会社
株式会社デジテックエイチピー
株式会社マイティミズタニ
医療法人社団ヒロデンタルクリニック
朝日金属株式会社
株式会社安藤・間
城東電機株式会社
ウエスタンデジタル合同会社
株式会社リブレ
見田工作株式会社
愛知電線株式会社
笹原金型株式会社
有限会社大和工業
有限会社ます徳
アクセル有限会社
OIRC
ARMS株式会社
RAIDEN
株式会社ジョイフル設備
株式会社アクトライズ

# 2024 SUPER GT300 Round.2　FUJI　～ Race Report ～

## ◆予　選

天候　晴れ

コース状況　ドライ

気温　23℃（GT300クラスQ1開始時）

路面温度　38℃（GT300クラスQ1開始時）

予選開始　14時25分（GT300クラスQ1-B組開始）

Team LeMansは、昨年に引き続き、SUPER GT GT300クラスに参戦する。4年目となる今シーズンは、マシンをAudi R8 LMSからFERRARI 296 GT3に変更し、マシン名を「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」とした。一方、ドライバーは昨年同様、第1ドライバーに片山義章、第2ドライバーにロベルト・メリ・ムンタンを起用。チーム体制も継続し、2023シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤは、これまでどおりヨコハマタイヤを装着する。

さて、今シーズンのSUPER GTでは予選方式が変更され、Q1、Q2のタイム合算方式が採用される。GT300クラスの場合、Q1はグループA、グループBの2組に分かれてそれぞれ10分間のQ1を行い、各組の上位8台がQ2グループ1（Upper 16th）、9位以下がQ2グループ2（Lower 17th）に分かれて8分間のQ2に挑む。
予選順位はQ1、Q2の合算タイムで決まり、上位12位は、Q2グループ1へ出走した車両の上位12位までの順、21位以下はQ2グループ2の5番手タイム以下の順。
13位から20位については、Q2グループ1の下位4台と、Q2グループ2の上位4台の合算タイムを比較し、タイム順にポジションを入れ替える。
なお、Q1、Q2、決勝スタートは1セットのドライタイヤを使用しなければならず、昨シーズンにも増してタイヤのマネージメントが重要になる。

### #6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

**予選結果：17位（予選トータルタイム：3分14秒233／ロベルト選手：1分37秒027／片山選手：1分37秒206）**

予選日の３日は好天に恵まれ、ＧＷの最中ということもあり、予選から満員の観客でにぎわった。
予選は14時25分から始まり、UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはQ1グループBにロベルトが出走。朝の公式練習で手応えを得ていたロベルトは、3周でタイヤをウォームアップしたあと4周目にタイムアタックを行い、1分37秒027をマーク。これがグループBの6番手タイムになり、Q2グループ1（Upper 16th）への進出を決める。

15時36分からのQ2グループ1では、片山が4周目にマークした1分37秒206がベストとなった。これによりQ1、Q2の合算タイムは３分14秒233で、Q2グループ1で14番手となり、合計タイム合算の順位入れ替えルールにより、決勝は17番手スタートとなった。

# 2024 SUPER GT300 Round.2　FUJI　　～ Race Report ～

## ◆決　勝

天候　晴れ

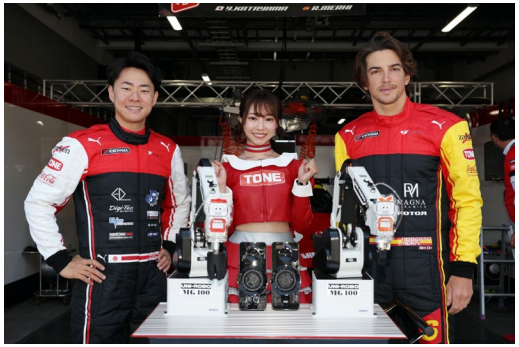
コース状況　ドライ

気温　23℃（スタート時）

路面温度　41℃（スタート時）

決勝レース開始　13時30分（正式スタート時刻 13時36分34秒）

予定走行時間　3時間（正式フィニッシュ時刻 16時37分34秒）



**#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI（片山＆ロベルト選手）**

**決勝結果：13位（所要時間：３時間=106周消化／ベストラップ：1分38秒002=ロベルト選手）**

決勝日となった5月4日はゴールデンウィークということもあって、早朝から多くの観衆が富士スピードウェイに詰めかけた。快晴の空の下、予定どおり13時30分に交通機動隊を先導としたパレードラップが始まり、続く1周のフォーメーションラップのあと、午後1時36分に正式なスタートが切られた。
17番手からスタートした片山は好ダッシュを見せて1コーナーで2台のマシンをパスするものの、コカコーラ・コーナーでイン側から押し出されて抜き返された。しかし再びダンロップ・コーナーでインを刺し、1周目を15番手で戻ってくる。その後も快調に飛ばしながら13番手まで浮上。
しかし12周目のGRスープラコーナー(T15)で後続車両にインから接触されてスピン。21番手までドロップし、さらに14周目にギヤがスタックし、ダンロップ・コーナーのイン側にマシンを止め、再始動。27番手の最後尾から再び猛追撃を開始する。

この逆境に対し、小倉啓悟チーム監督は急遽戦略を変更。ライバルたちがピットに入り始める中、ステイアウトで8番手までポジションを上げ、43周目まで引っ張ってピットイン。片山の単独走行時間が1時間を超えたことで、ルール上、ロベルトは最後まで交代せずに走り切れる状況だ。ピットインの義務は2回なので、最後のピットインを遅らせ、給油によるロスタイムを極限まで短縮する戦略に出たのだ。

23番手でレースに復帰したロベルトは自己ベストラップを次々と更新。スタートから2時間を経過する頃には11番手までポジションをアップしていた。

本来のペースを取り戻したUNI-ROBO BLUEGRASS　FERRARIは、残り30分、88周目に最後のピットイン。給油を最短時間で済ませてレースに復帰した。
しかしギリギリまで攻めた燃費計算が裏目に出てしまい、ラスト3分で再度ピットに戻り、数リッターを補填。ポジションは13位と変わらないまま、無事3時間レースのチェッカーを受けた。

# 2024 SUPER GT300 Round.2　FUJI　　～ Race Report ～

## 片山　義章　選手のコメント

決勝のスタートは上手く決まって、１コーナーまでに２台をパスしたのですが、抜いたマシンにコカコーラ・コーナーでイン側から当たりながら押し出され、そこで左フロントのジオメトリーが狂ってしまい、左コーナーですごく遅くなってしまいました。
それでも気を取り直してドライビングをアジャストしてアンダーをごまかしながら前を行くマシンを抜き続けていたのですが、後ろから当てられてスピン。その次のラップでギヤが噛んでしまって入らなくなり、安全な場所に止めてエンジンを切って再始動させ、なんとかレースに復帰することができました。
そのあとはペースも悪くなく、できる限り燃費を稼ぎながら引っ張ってロベルトに交代しました。ロベルトは２スティントをハイペースで攻め、ベストラップを刻みながら追い上げてくれました。最後のガス欠は驚きましたが、結果には影響なかったのが不幸中の幸いでした。悔しさの残るレースでしたので、次の鈴鹿でこの借りを返したいと思っています。

## ロベルト・メリ・ムンタン　選手のコメント

最悪の一日でした。チームが悪いわけではなく、マシンが悪いわけでもなく、片山選手の不運なアクシデントですべてを失い、さらに追い打ちをかけるようなトラブルが続きました。自分に交代した時は、失うものが何もない状態でした。
アグレッシブに攻め続け、自分にできることはすべて出し切ったつもりですが、結果はポイントに届かなかったです。次の鈴鹿のレースでは、自分たちが持つ本来の実力を発揮したいと思います。

## 監督コメント

本当に運に見放された週末でした。昨日の滑り出しは悪くなかったのですが、予選で17番手に沈んでしまったのが痛かったですね。

決勝レースでは、片山選手がスタートから良いバトルをしてくれましたが、当てられてしまって全てを失いました。あの事故がすべてだと思います。ただぶつけられたのも、予選があの位置だったからですし、もっと上位グリッドからスタートできていれば、違った結果になったかも知れません。さらに立て続けにギヤトラブルも出て最後尾まで落ちてしまい、戦略を変更して攻めに攻めたレースをしました。

最後に燃料が足らなくなってしまいましたが、攻めすぎた結果ですから悔いはありません。応援してくださったファンの皆様やスポンサーの皆様には本当に申し訳なかった結果ですが、次の鈴鹿はこの悔しさをぶつける気持ちで頑張ります。引き続き応援よろしくお願いします。

VELOREX
Fueled by Ambition

Team Le Mans

WestCove
BLUEGRASS
UNI-ROBO
DOBOT
zahren
TONE

EVER CORPORATION
osmo development
ニチアス
METAL RECOVERY OKADA KINZOKU
AOYAMA ELEVATOR
カトー機械株式会社
Digi-Tec INTECNO
MAITY
MIDTOWN BBQ www.midtown-bbq.com
Western Digital
The CELLAR GOTEMBA
ESTATESALE SUPREMACY
JOTO DIRECT
見田工作
ASAHI 朝日金属株式会社
RiBLE
H&A Human & ARMS
SASAHARA
DAIWA
XPEL JAPAN
Joyful
医療法人社団 ヒロ デンタル クリニック
安藤ハザマ HAZAMA ANDO CORPORATION
AEW 愛知電線
お食事 ご宴会 徳 会席料理 寿司 鍋 弁当 仕出し
Marking & Print Factory jump!
OIRC
ActRizz